

## PRESTO™ A80t

### 20Lのガラス反応容器を +20°Cから+100°Cまで加熱運転

#### 目的

このケーススタディはユラボPRESTO™ A80tの加熱能力を20Lのガラス反応容器でテストしたものです。  
ユラボPRESTO™ A80tを1mのメタルチューブ 2本で20Lのガラス反応容器に接続し+20°Cから+100°Cまで加熱するようにプログラムされています。



#### 環境

室温	+20 °C
湿度	45%
電源	208 V / 60 Hz

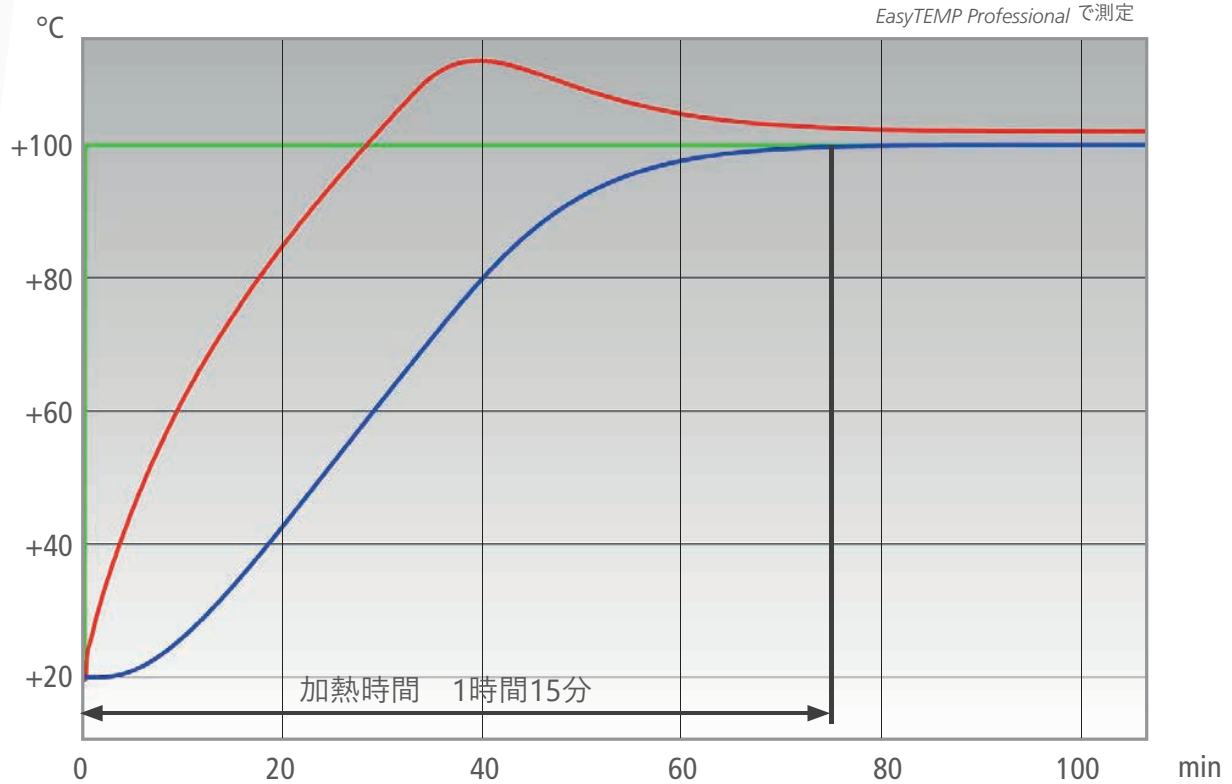
#### テスト条件

ユラボ装置	PRESTO™ A80t
冷却能力	+20 °C 1.2 kW 0 °C 1.2 kW -20 °C 1.1 kW
加熱能力	3.4 kW
バンドリミット	有り
吐出圧	0.5 bar
循環液	ユラボサーマル HL80
反応容器	20Lガラス反応容器 (Asahi)を 19LのサーマルHL80で満たしています
ジャケット容量	7L
温度制御	外部温度制御 (ICC)



## テスト結果

PRESTO™ A80t の加熱プロセスは +20°C から +100°C まで 1 時間 15 分でオーバーシュートすることなく到達しました。



- 設定温度
- 反応容器内温度
- ジャケット温度

**情報**  
容器の保護：  
“バンドリミット”機能  
(上記参照)で、  
容器内部温度と  
ジャケットの温度差を  
制限して設定する事が  
できます。

Profile of reactor

Jacket interior

**情報**

無償版の  
EasyTEMPソフトウェアを  
使用することにより、  
PCで装置をコントロール  
したり温度データを  
画面上に表示させること  
が可能になります。